

大垣桜高等学校 トピックス

服飾デザイン科 平成30年度 専門高校活性化に向けた総合戦略事業

「専門高校における地域の特色を生かした教育の実践研究」

掲載日 平成30年11月6日(火)

新素材を知る！素材からのデザイン発想

洋服は、素材とデザインの両輪で成り立っています。デザイン先行だと捉えがちですが、ファッションビジネス業界では同等に大切な要素です。日本のファッション業界の変遷を振り返ると2010年代は、新素材を開発し世界にアピールする商品作りに注目が集まり、高機能素材が次々と開発された「素材の時代」と称されています。テキスタイルデザインや素材開発ができる人材が今、必要とされています。素材に対する知識を深めておくことが必要不可欠です。

MADE IN JAPANのアパレル製品は僅か3%以下となっている現在、来る2020年代は、日本で考えて世界で作って世界中で売る時代になるのではないかと・・・？ by 神山勝男先生

そんな時代のファッション産業を支える私たちに必要なスキルとは、何かを探りながら講義を受けました。

<講義> 平成30年10月15日(月)

対象：服飾デザイン科 2年生(36人)

3年生(39人)

講師：KDS 神山デザイン事務所

神山勝雄氏

<講義の内容>

1. テキスタイルとは
2. テキスタイルの中のニット
3. レースの種類 機械レース
4. 進化する素材
5. 課題総評
6. 生活を快適にしてくれる素材開発技術
7. 地方の発信でファッションビジネスが可能になった



前回の講義の課題「夢の素材を提案」について総評を伺った。提案の一例

シーチングのみでデザインされたテキスタイルの例

パターンレス素材やデジタルプリント素材



レースの種類を学ぶ



トーションレースで作られたバック



トーションレースのタイツ

今回の講義を受けての研究課題は「トーションレースを効果的に使ったファッションデザイン」です。まずは、既存のファッションのレースの使い方をリサーチし、今までにないアイデアを提案します。素材先行で洋服のデザインを生み出す発想力を磨きます！

